

ル・コルビジェの室内デザイン

「使いやすい、心地よいデザイン」は、デザインを評価する際に最も重要な指標の一つであることに誰も異論はないだろう。モノ作りにもサービスにもユーザビリティへの配慮は不可欠だ。ここで問題になるのが、この指標をどのように評価し、どのような形でユーザーへ届けるかである。「使いやすい」は一定の評価軸に伴い優劣を評価することができるとしても、「心地よさ」には感覚的なものが含まれ、個人差が生じる。ここに商品やサービスを開発、提供する側が陥る落とし穴がある。個差にフォーカスした商品開発は、商品バリエーションを増やす、または個々の要望に応じたカスタマイズの方向へ向かう。しかし選択肢を増やす事が必ずしもユーザーのニーズに合致するとは限らない。この難しい指標に対し、優れたデザインは不変的な答えを見つける。そのような優れたデザインを近代建築の巨匠、ル・コルビジェが手掛けた室内デザインに見ることが出来る。

デザインで
伝えるメッセージ

August 2016

渡邊知子国際特許事務所 代表

弁理士 渡邊知子

があり、奥行き方向に細長い作りになっている。キッチンの反対側の壁際に階段があり、上の階にベッドルームと子供部屋2部屋を備えたメゾネット形式で、4人家族を想定したコンパクトな造りである。注目すべきは、この集合住宅は1952年に完成しているが、現在日本で一般的に見られる、集合住宅や小規模の建売り住宅の室内設計と近似する点だ。60年以上前のフランスの集合住宅のスタイルが未だに日本で採用されているのは感慨深い。その上長

い年月が経過しているにもかかわらず、コルビジェのデザインには新しさも感じる。そして「使いやすい」と「心地よさ」が追求されている。

例を挙げると、キッチンが玄関から最も近い位置にレイアウトされているが、これは現在日本で販売されている多くの集合住宅に共通するレイアウトだ。また、キッチンは

コルビジェは、今年7月に国立西洋美術館を含む建築群が世界遺産に登録され、益々脚光を浴びている。建築物を評する際、とかく外観が注目されがちだが、外観同様またはそれ以上に、建物内のデザインが重要になる。特に住居では、住人にとって「使いやすい、心地よいデザイン」が求められることは言うまでもない。来年生誕130年を迎える巨匠の室内デザインを体感するのは難しいが、パリの建築・文化財博物館には、彼の代表作であるマルセイユの集合住宅「ユニテ・ダビタシオン」の室内実物大模型が展示されており、彼が手掛けた実際の住居を体験する事が出来る。実物大模型は、ポストが取り付けられた玄関口から正確に再現されている。玄関から部屋に入ると直ぐ左手にキッチン、奥にリビング



マルセイユの集合住宅
ユニテ・ダビタシオン
実物大模型の外観

コの字状にデザインされたシステムキッチンであり、シンクや調理台の上のつり戸棚は、正面扉が下方へ深く傾斜し、狭い空間を補っている。リビングとの仕切りを兼ねた調理台は、キッチン側からもリビング側からもアクセスでき、リビング側からは食器棚として使えるようデザインされている。これらのデザインは全て、現在も日本の一般住宅で採用されている。狭くても使い勝手の良いキッチンは、自ずとこのようなデザインになることに気づかされる。

ユーザーオリエンテッドの精神は、彼が母のために建築した「レマン湖の小さな家(母の家)」にも如実



リビングとキッチンを仕切る、調理台兼食器棚(キッチン側・上)(リビング側・下)

に表れている。湖沿いに建つ小さな平屋は、湖に面した側の壁面に横長の窓が途切れる事無く連設され、室内も同様に間断なく細長い空間が形成されている。室内で家事などをしながらでも景色を楽しむ配慮が伺える。収納を兼ねた仕切り壁や光を通す曇りガラスの扉は、横長の家の室内にアクセントを与えている。書棚として使われていたと思われる手の届く高さの棚の前には、コルビジェがデザインしたリクライニングチェア(LC4)が置かれ、頭上にはシンプルな照明器具が備えられている。コンパクトで快適な暮らしを追求した設計に、高齢の母親への気遣いが表れている。

デザインで伝えるメッセージ

August 2016

.....
渡邊知子国際特許事務所 代表

弁理士 渡邊知子

コルビジェは「家は住むための機械である」という言葉を残している。「機械」と語った言葉に含まれる機能性への追求の背後にはユーザーオリエンテッドの精神がある。コルビジェが追い求めたデザインの原点を、テクノロジーの進化と共に、新たに具現化させたい。



隣り合う子供部屋
シンメトリーに作られている

参考情報:

レマン湖の小さな家(母の家)
<http://www.fondationlecorbusier.fr/corbuweb/morpheus.aspx?sysName=redirect153&sysLanguage=fr-fr&IrisObjectId=8283&sysParentId=153>